

社会資本総合整備計画

みやづしはままち しんはま ちく としさいせいせいびけいかく
宮津市浜町・新浜地区 都市再生整備計画

事後評価シート

きょうとふ みやづし
京都府 宮津市

令和元年5月

事後評価の評価体制		公表の方法	
	担当部局により評価を実施		宮津市オフィシャルホームページにて公表

計画の名称	宮津浜町・新浜地区都市再生整備計画事業											
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）					交付対象	京都府宮津市					
計画の目標												
○大目標『丹後の観光拠点～宮津マルシェ～』 目標1：丹後観光の玄関口の形成 目標2：まちなか観光の起点の構築 目標3：宮津・丹後の食と物販を通じた賑わい拠点の強化												
計画の成果目標（定量的指標）												
① 宮津市への観光入込客数を273万人／年（H23）から、300万人／年（H29）に増加 ② 宮津市観光交流センター立体駐車場の年間駐車台数を130,943台／年（H23）から、150,000台／年（H29）に増加 ③ 都市再生整備区域内で行われる賑わいづくりのイベント回数を6回／年（H23）から、10回／年（H29）に増加												
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
									当初現況値 (計画策定時)	中間目標値 (－)	最終目標値 (H29末)	
① 宮津市への観光入込客数（万人／年）									273	－	300	
② 宮津市観光交流センター立体駐車場の年間駐車台数（台／年）									130,943	－	150,000	
③ 都市再生整備区域内で行われる賑わいづくりのイベント回数（回／年）									6	－	10	
全体事業費	合計 (A+B+C)	519 百万円	A	519 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%		
施行全体事業費	合計 (A+B+C)	502 百万円	A	502 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%		

1. 交付対象事業の進捗状況															
A1 基幹事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1-1	都市再生	一般	宮津市	直接	宮津市・民間等	宮津市浜町・新浜地区都市再生整備計画 事業	高次都市施設（300㎡）、地域創造支援 事業、まちづくり活動推進事業	宮津市						519	
				間接									502		
				合計					519						
													502		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0		
その他関連する事業															
計画等の名称			交付対象	要素となる事業名			市町村名					全体事業費 (百万円)	備考		
事業種別															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 事業計画全体の目標達成状況		京都縦貫自動車道の全線開通に合わせて、宮津まちなかの賑わいづくりの拠点となる「魅力ある集客ゾーン」を浜町周辺に作りあげていくため、来訪者の受け入れ基盤を整え、市民と来訪者の交流の場を創出することを目的に整備した「宮津市観光交流センター」を平成27年7月にオープン。同年11月に当該施設を含むエリアを道の駅「海の京都 宮津」として登録した。さらに平成30年11月に浜町地区と天橋立の中間地点に「宮津天橋立漁師町ととまーと」をオープン。 観光交流センターを含む道の駅は、平成29年度：年間123,868人という多くの来場者があり、丹後観光の新たな玄関口として、市内の周遊や滞在を促す観光情報等を発信し、観光入込客数の拡大に寄与している。また、さらなる集客に向け、地域住民や事業者を巻き込み、新たな特産品の開発や食のイベントの開催に取り組んでいる。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 観光入込客数 (万人／年)	最終目標値	300	目標値と実績値 に差が出た要因	—
		最終実績値	300		
	指標② 区域内への交通 量（台／年）	最終目標値	150,000	目標値と実績値 に差が出た要因	計画区域内の施設整備などにより、中心市街地への来訪者が増加し、中心部に立地する宮津市観光交流センター立体駐車場の駐車台数が増加した。
		最終実績値	186,825		
	指標③ イベント回数 (回／年)	最終目標値	10	目標値と実績値 に差が出た要因	計画区域内において、当該施設整備をした結果、イベント開催の機運が高まって当該施設を活用したイベントなど、住民や地域団体との連携により多くのイベントが実施された。
		最終実績値	12		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況（必要に応じて記述）		中心市街地の来訪者が増加し、空き家・空き店舗を活用した新規出店や相談案件が増加した。			

3. 特記事項（今後の方針等）					
・まちなか観光の起点づくりとして、市街地の歴史・文化・史跡をアテンドする観光ガイドの強化を行い、観光客向けの市街地周遊散策コースを確立する。 ・道の駅や観光交流センターを中心に、宮津・丹後の地場産品を活用したオリジナル商品を市内事業者と連携した商品開発及び販路拡大を行い、外貨を稼ぎ市内事業者に循環させる仕組みを今以上に強化する。 ・空き家・空き店舗を活用したにぎわいの場を作り、商店街等の活性化及び地域商業の観光商業化を推進するため、空き家等を活用して新規出店する事業者等に対する支援を行う。					

(参考図面)

